

平成31年3月18日

各 位

八戸市医師会
臨床検査センター

お 知 ら せ

平素、当検査センターをご利用いただきありがとうございます。

これまでの細菌検査報告におけるインフルエンザ菌の耐性菌表記は BLNAR と *H. influenzae* β -lactamase (+) でしたが、*H. influenzae* β -lactamase (+) は更に2種類に分類されます。4月1日の報告からその2種類を追加表記することになりましたのでご連絡いたします。

なお、インフルエンザ菌の耐性菌の表記を下記に示しますので、今後の報告の御参考にして下さい。

1. 従来より報告している耐性菌

・ BLNAR- β ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性インフルエンザ菌 (*β -lactamase-nonproducing ampicillin resistant Haemophilus influenzae*): β ラクタマーゼを産生しないため β ラクタム系抗菌薬は有効なはずですが、アンピシリンに耐性を示す耐性菌です。

2. 新たに *H. influenzae* β -lactamase (+) を下記に分類して表記します

・ BLPAR- β ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性インフルエンザ菌 (*β -lactamase-producing ampicillin resistant Haemophilus influenzae*): β ラクタマーゼを産生するため β ラクタム系抗菌薬は効きません。よって β ラクタマーゼ阻害薬であるクラブラン酸 (CVA) が抗菌力を発揮します。

・ BLPACR- β ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性クラブラン酸耐性インフルエンザ菌 (*β -lactamase-producing amoxicillin-clavulanate resistant Haemophilus influenzae*): β ラクタマーゼを産生するためクラブラン酸を使用したいところですが、この耐性菌はクラブラン酸にも耐性を示す厄介な耐性菌です。

※ご不明な点がございましたら、検査センター(TEL 43-7422)細菌検査室までお問い合わせ下さい。